

政策評価調書(元年度実績)

政策名	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進～子育て満足度日本一の実現～	政策コード	I-1	関係部局名	福祉保健部、商工観光労働部、教育庁
-----	--	-------	-----	-------	-------------------

【Ⅰ. 政策の概要】

男性の子育て参画の推進や地域における子育て支援、仕事と子育ての両立支援など、社会全体で子育てを応援するための環境づくりや、出会いから結婚・妊娠・出産・育児への切れ目ない支援とともに、児童虐待の未然防止・早期対応、子どもの貧困対策、ひとり親家庭・障がいのある子どもと家族へのきめ細かな取り組みなどにより、一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりを推進する。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名		指標評価	総合評価
1	子育てしやすい環境づくりの推進	達成不十分	B
2	結婚・妊娠の希望が叶い、子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備	達成	A
3	児童虐待の未然防止・早期対応等切れ目ない支援	達成	A
4	子どもの貧困対策やひとり親家庭・障がい児へのきめ細かな支援	達成	A

【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

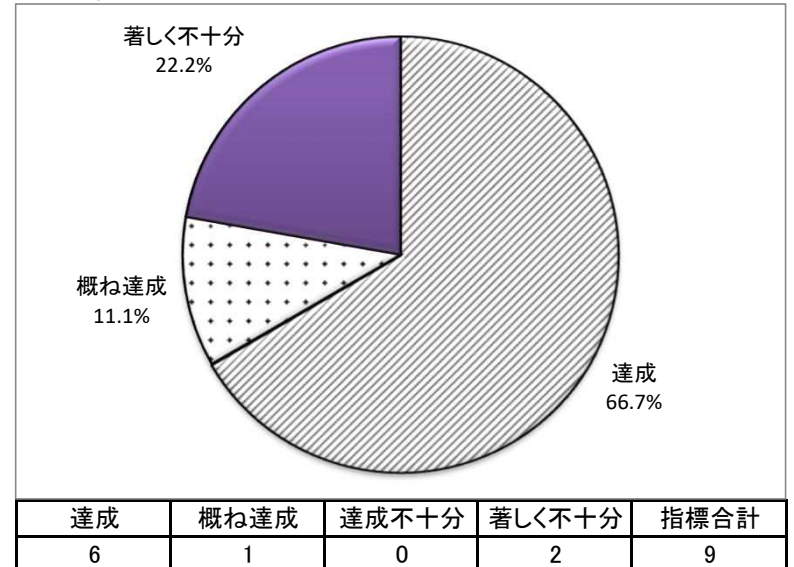
本県ではH21年度から、「子育て満足度日本一」の実現を掲げ、様々な施策を展開してきた。こうした取り組みの効果もあって、子育て世帯が理想とする子どもの数は、近年徐々に上昇し、R1年度は2.88人へと増加した。また、R2年度に、民間調査機関が発表した「育児ストレスが少ない都道府県ランキング」で、本県は女性が全国1位、男性が2位となった。

しかしながら、依然として、本県にとって最大の課題は、急速に進む少子高齢化、人口減少であり、いかにして出生数の減少に歯止めをかけるかが問われていることから、子どもを生み育てやすい環境づくりに向けて、様々な面から、さらなる取り組みが求められている。

また、本県は出産・育児を理由に離職した女性の割合が大変高くなっているため、男性の積極的な子育て参画への機運醸成、地域における子育て支援や仕事と子育ての両立支援、少子化の一因である晩婚化や未婚化の対策として、結婚を希望する若者の出会いへの支援など結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を充実させていく必要がある。

「おおいた子ども・子育て応援プラン」に基づき、NPOや企業、国・市町村と引き続き連携しながら、子どもを生み育てやすい環境づくりを充実させ、「子育て満足度日本一」の実現に向けて努力していく。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
保育所等待機児童数(人)	75.0%
<p><著しく不十分となった理由> 市町村と連携して、保育所や認定こども園の新設・増改築などにより、約800人分の定員増を図ってきたが、想定を上回る保育ニーズがあったため、待機児童解消には至らなかった。 引き続き、市町村と連携して保育定員の拡大及び保育人材確保の取り組みを強化し、待機児童の解消を図る。</p>	
男性の育児休業取得率(%)	36.9%
<p><著しく不十分となった理由> 企業における男性の育児休業取得に対する意識が低く、特に経営者の理解が不足している。 引き続き、労働局と連携し、経済5団体、連合などが主体的に目標数値を達成するよう働きかけるとともに、県が行う経営者や労働者向けセミナーなどあらゆる機会を捉えて、育児休業の促進など目標数値に関する普及啓発を推進する。</p>	